

072

こころ せい ちよう
心の成長

しや
ポプラ社

933



赤毛のアン

あかげのあん

原 ルーシー・モード・モンゴメリ 訳 村岡花子

前向きで正直で、とても優しいアンは、私にとってお手本のような存在です。

マッシュとマリラは、農場の手伝いをさせるため孤児院から男の子を引き取ることに。ところがやってきたのは、おしゃべりでやせっばち、緑色の瞳と赤毛で、そばかすだらけの11歳になったばかりの女の子アン。でも、彼女はマッシュとマリラをひきつけ、幸せな気分にしてくれます。友人ダイアナとの友情、将来の伴りよとなる、宿敵ギルバートとの出会い。アンがどんどん成長していくところが、見どころです。／桜丘中 みかん

100年以上読み継がれている名作。いろいろな訳の本を読むのもおすすめです。

073

こころ せい ちよう
心の成長

しょうがく かん
小学館

9136



西の魔女が死んだ

にしのみまじょがしんだ

著 なし き か ほ
梨木香歩

この本は、タイトルは少し暗いけれど、読むと心がじんわり温くなる話です。「心の元気がなくなったとき」この本を開いてみてください。西の魔女と主人公まいの一月あまりの生活が、その答への手がかりをくれるでしょう。また、自分の生き方を、未来を、決めるのは自分自身。ほかのだれでもない自分の人生だからこそ、自分の足で立ち上がり、歩き出さなければならない。流されず歩いていくことは困難かもしれないけれど、きっとそれは幸せに続いていく。そんなことを教えてくれる物語です。／梶山女学園中 飴玉

紹介した本のほかに、新潮社から文庫本も出版されています。



074

こころ せいちょう
心の成長しん ちようしゃ
新潮社

9136

きよしこ

きよしこ

しげ まつ きよし
著 重松清

きつ音だった作者の少年時代の物語。主人公の強い思いは、ヘコたれそうな私を一喝してくれそうな気がします。



075

こころ せいちょう
心の成長かど かわ しょう てん
角川書店

9136

DIVE!! シリーズ

だいぶ!! シリーズ

表紙: DIVE!! 上

もり え と
著 森絵都

主人公が中学生。一つのことにかける思いや、仲間との関係についての難しさなど、きっと共感できる部分があります。



076

こころ せいちょう
心の成長しゅ しゃ
ポプラ社

9136

夏の階段

なつのかいだん

な し や
著 梨屋アリエ

五人の高校生が、悩みながらそれぞれの生き方を考えます。五人の思いや考えのすれ違いから、読む人も何かを学べると思います。



077

こころ せいちょう
心の成長しゅ しゃ
ポプラ社

933

秘密の花園

ひみつの はなぞの

作 バーネット 訳 たにむら こ
バーネット 訳 谷村まち子

わがままな主人公メリーは両親をなくし、おじさんにひきとられます。美しい自然に囲まれ、メリーは成長していきます。

こころ せい ちよう
心の成長の
選定委員からのメッセージは
36ページに掲載。



DokiDoki

WakuWaku

It is interesting
to read books.

078

冒険・挑戦

ポプラ社

9136



「ぼくら」シリーズ

「ぼくら」シリーズ

表紙: ぼくらの七日間戦争

著 宗田理

作者の
宗田理さんから
メッセージ...37ページ

大人のやり方に疑問や怒りをもった子ども達が、自分達だけの解放区を作り、大人達と七日間にも及ぶ戦争をくりひろげる物語です。主人公の中学生たちは、みんないきいきとしていて、たくましくて、読んでいてこっちの胸がすっとするほどそう快です。そして読み終わった後には、私たちがどうあるべきなのか考えさせられる本です。あまり本を読まない人にもオススメです。／牧の池中 翔

「ぼくら」シリーズは、現在名古屋市在住の作家宗田理氏によって、約25年前に誕生。皆さんの先生の中にも中学時代に読んで、胸を躍らせた方がいるはずです。

079

冒険・挑戦

新潮社

953



十五少年漂流記

じゅうごしょうねんひょうりゅうき

作 ジュール・ベルヌ 訳 波多野完治

互いに助け合って生き抜くために様々な工夫をしたり、けんかをした少年が仲間と出ていくなど、見どころがたくさんです。

080

冒険・挑戦

講談社

9136



都会のトム&ソーヤシリーズ

まちのとむあんどそーやしりーず

表紙: 都会のトム&ソーヤ①

著 はやみねかおる

無人島や洞くつ、山奥に行くわけではなく、町中でおこる物語なので、だれでも冒険できるという夢を与えてくれます。



I like books!!

What is your favorite book?

選定委員からの
メッセージ

心の成長



「心の成長」というテーマで選ばれた本は、登場人物がみなさんの年齢に近い人が多く、共感することのできるものが多いのではないかと思います。ここに選ばれたもののほかに、『DIVE!!』の作者である森絵都さんの『リズム』や、『夏の階段』の作者である梨屋アリエさんの『空色の地図』なども候補にあがっていました。もし、紹介した本の中で気に入った本が見つかったら、同じ作者の別の本をぜひ読んでみてください。新しい読書の楽しみ方が見つかるかもしれません。

『赤毛のアン』や『秘密の花園』は、長い間読み継がれてきた名作といわれる作品です。小学生のときに読んだという人でも、時間をおいてもう一度読んでみると、きっと違った発見があります。いろいろな訳の本を読み比べてみるのも楽しいです。みなさんのご両親も読まれたことのある本だと思います。ご家族で、本の感想を話し合ってみてはどうでしょうか。新しい見方が広がりますよ。

選定委員からの
メッセージ

冒険・挑戦



未知への好奇心、忍び寄る危機、困難の克服、互いに助け合う友情、絶体絶命からの大逆転、成功と成長など、冒険・挑戦の物語はいつの時代も若者を魅了してきました。皆さんのおすすめ三作品のうち、『都会のトム&ソーヤ』は平成の定番ですが、「ぼくら」シリーズは昭和から、『十五少年漂流記』は何と明治時代から、当時の若者の胸を躍らせ、今なお、皆さんを勇気づけてくれます。

中学生はいつの時代も大変です。学校、家族、友情、恋愛、将来・・・、無人島よりリアルな「日常」という冒険が待っています。皆さんがこの冒険で、試練に直面し、重大な選択をしなければならないとき、本の主人公たちを思い出してください。『十五少年漂流記』のゴードンたちなら、どのように決断するか、「ぼくら」シリーズの英治や相原はどう立ち向かうのか、『都会のトム&ソーヤ』の内人と創也はいかに切り抜けるのか。

読書で魅力的な登場人物にたくさん出会ってください。彼らのように挑戦し、行動することで、自分が主人公の物語である「人生」をより豊かにしてください。

宗田理さんからのメッセージ

いまでも忘れられない本

ぼくの中学時代は戦争中だった。一年生の夏休みの宿題は軍馬の餌である干し草40キロを提出することであった。

これを夏休み中に集めるのは容易ではない。毎朝早く起きて草探しである。ぼくの住んでいた町から自転車で10分も走ると海の堤防に出られる。その松林の下で草はいくらでも刈ることができた。

早々と草刈りを終えると草を道にひろげて乾燥させた。その間暇があるので松林のかげで読書をした。海の風が快く吹いてきて、読書には絶好の環境であった。ぼくはそこで何冊も本を読んだ。といっても勉強ではない。日本の小説から外国の小説まで、手当たりしだいに読んだ。いわゆる乱読である。

読書に飽きると海で泳いだ。いま思い出しても、楽しい時代だった。それ以来、ぼくの読書好きは止まらなくなった。しかし、やがて戦争が激しくなり、ぼくも死ななくてはならないかと覚悟するようになった。そんなとき、石坂洋次郎の『若人』を読み、青春とはこういうものかと知った。それまで国のために死ぬことだけを考えていたぼくは、こういう生き方もあるのだと羨ましく思った。本は何冊も読んだけれどこんなに心を動かされたのは、はじめての経験であった。

宗田 理

Profile 《プロフィール》

東京生まれ、名古屋市在住。シナリオライター、編集者を経て、『未知海域』で作家デビュー。『ぼくらの奇跡の七日間』『ぼくらの修学旅行』などの「ぼくら」シリーズは多くの中高生から支持を得ている。『ぼくらの七日間戦争』など、映画化された作品も多数。



100冊に選ばれた本

➡ 「ぼくら」シリーズ (35ページ)